

令和6年度第1回草加市立図書館協議会会議録（概要版）

1 開催日時

令和6年7月12日（金）午後2時00分から午後4時00分まで

2 開催場所

草加市立中央図書館 4階多目的ホール

3 出席者の氏名

(1) 委員 10人

青柳伊佐雄委員長、橋本奈津子副委員長、遠藤淳一委員、中山裕子委員、
杉山ふみ子委員、野田圭介委員、柴康子委員、渡邊恒一委員、小曳京子委員、
福田求委員

(2) 事務局 5人

鈴木中央図書館長、松本副館長、浅井庶務係長、日野奉仕・資料係長、
富永主事

4 委員長及び副委員長の選出

- ・ 委員長 鈴木中央図書館長を仮座長とし、委員の互選により青柳伊佐雄委員を委員長に選出。
- ・ 副委員長 青柳伊佐雄委員長を議長とし、委員の互選により橋本奈津子委員を副委員長に選出。

5 議事

- (1) 令和5年度草加市立中央図書館事業報告について
- (2) 令和6年度草加市立中央図書館事業計画について
- (3) 草加市子ども読書活動推進計画の令和5年度進捗管理について
- (4) 第二次草加市子ども読書活動推進計画について
- (5) その他
草加の図書館創立100周年記念事業について
今後のスケジュールについて

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴者数

なし

7 審議の概要

(1) 令和6年度草加市立中央図書館事業報告について 及び

(2) 令和6年度草加市立中央図書館事業計画について

○クラウドファンディングにより寄附を募るような政策は今後も継続していけるのか疑問。また、市民の協力を得ようとするのであれば、児童向けの分館を作るなど、インパクトのあるような計画にしたほうが良いのではないか。

○クラウドファンディングの話が出た際、図書館の予算は市がきちんと予算化すべきもので、おかしいのではないかと思っていたが、このところで少し見方を変え、自分の払う税金が、直接的に自分の希望するところに使われることが目に見えるという意味では、意味のあることだと思ったりもする。

○高校生の推し本コーナーが草加の図書館と草加の県立高校の伝統になったらいいと思っているため、継続をお願いしたい。

(3) 草加市子ども読書活動推進計画の令和5年度進捗管理について

○学校図書館の貸出冊数や市民ボランティア・地域と連携した子どもの読書に関する取組数については、計画値をクリアすれば良いという考えもあると思うが、もう少し計画値を上げて良いのでは。

○進捗管理を行う上で回数の推移を計測することとなるが、本当は回数ではない。私たちも読み手のマンネリ化を防ぐとか、読む内容をどのように考えるだとかして、できるだけ子どもたちに喜んでもらえるような中身のある読み聞かせをやっていきたいと考えている。

(5) その他 草加の図書館創立100周年記念事業について

「資料5 草加の図書館創立100周年記念事業について」を用いて説明を行う。

○根本的に、なぜ本を読むことが大切なのかということに触れるといろんなことが解決する気もしている。

○ネットやテレビから得られるものは単なる情報で、先人とかが築き上げてきた知識、そこに何か教養のようなものも入った、単なる情報だけじゃないものが入っているのが本の世界では。自分自身を育てていける存在が読書。

○私が子どもに読み聞かせをしても、お利口さんになるようにとか、そういうことなく、読書が親子関係を作り積み上げてきた。

○読んでいて楽しいと思ったとき、何か感じる事ができればそれでいいのではないか。あまり読書の強要はしないが、読むと楽しいよっていう非常に抽象的な言い方を子どもたちにはしている。本を読んだときにいいなと思えば、自分が生きていくための力になっていけばいいのかなという意味で大切なもの。